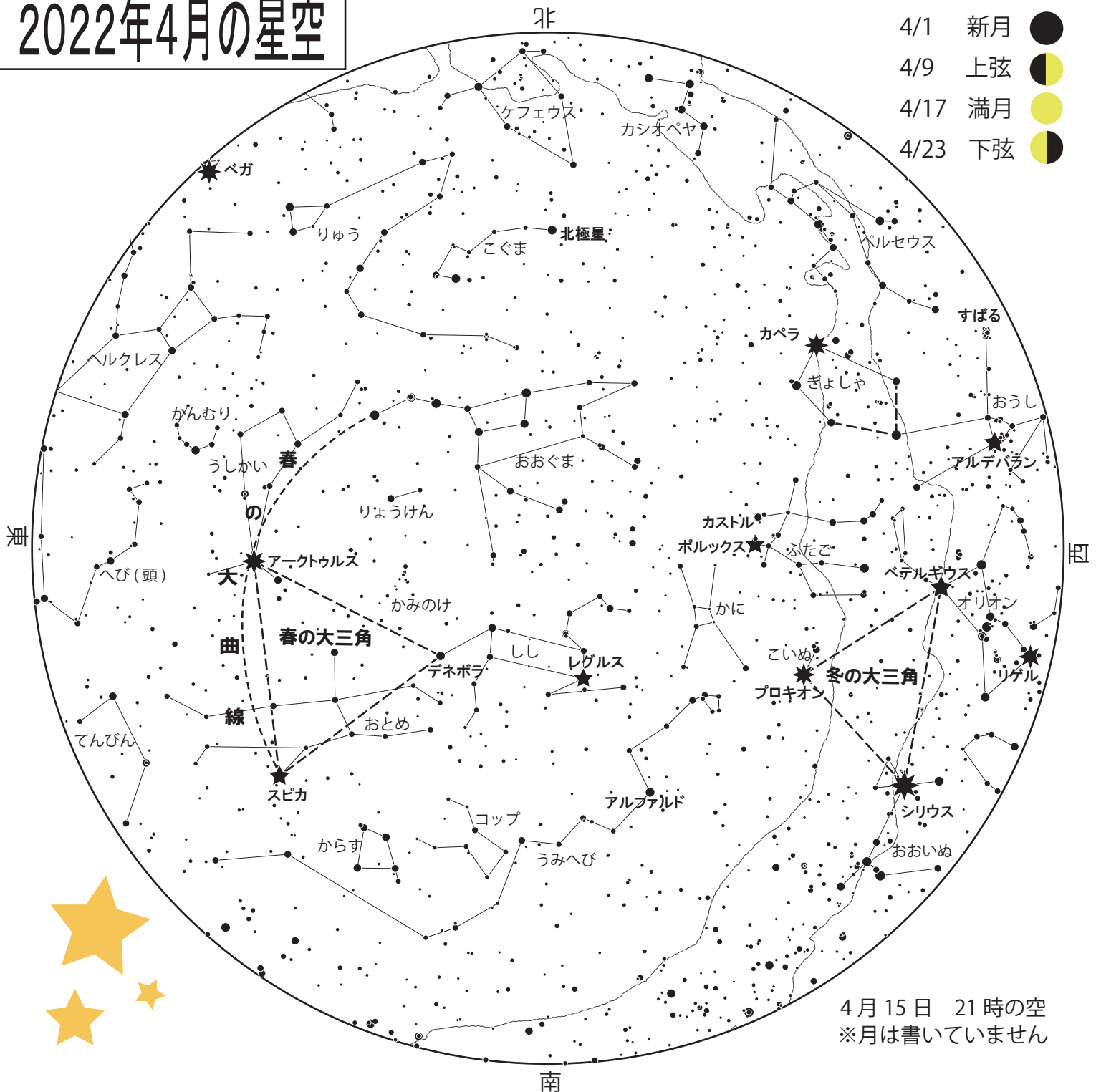


姫路で見る 2022年4月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 4/1 新月 ●
- 4/9 上弦 ◐
- 4/17 満月 ●
- 4/23 下弦 ◑



4月15日 21時の空
※月は書いていません

冬の夜空を飾っていた星たちが西へと傾いています。オリオン座のベテルギウス、おおおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを結んでできる「冬の大きな三角」は空低くに見えています。

頭の上はもう春の星空です。北の空高くには「北斗七星」が見えています。おおぐま座のしっぽにあたる星の並びで、ひしゃくの形として有名です。ひしゃくの器の先を伸ばすと、北の目印となる北極星が見つかります。また、ひしゃくの持ち手の先を伸ばすと、うしかい座のアークトゥルスが見つかります。そのまま更に伸ばしていくと、おとめ座のスピカも見つけることができます。北斗七星からアークトゥルス、スピカまでを結んだ線を「春の大きな曲線」と呼びます。そして、南の空高くには、しし座が堂々と姿を見せています。?マークを裏返しにしたような星の並びを目印にしてみてください。ししの胸元の星がレグルス、ししのしっぽの星がデネボラです。このデネボラとアークトゥルス、スピカを結ぶと「春の大きな三角」ができあがります。

いよいよ見納めとなる冬の星座と、これから主役となる春の星座をぜひ探してみてください。